



2025 年 2 月 5 日

アマンは、AMAN NAI LERT BANGKOK（アマン ナイラート バンコク）を  
2025 年 4 月に開業いたします

アマンは、バンコクに新たな都市型サンクチュアリとして、アマン東京やアマン ニューヨークに続く「Aman Nai Lert Bangkok（アマン ナイラート バンコク）」を 2025 年 4 月 2 日に開業いたします。ルンピニーの大使館エリアに囲まれたナイラートパークの中心に位置する本ホテルは、緑豊かな自然に囲まれた静寂のオアシスとなります。52 室のスイートを擁するホテル内には、専用施設を備えた会員制「Aman Club（アマンクラブ）」、1,500 m<sup>2</sup>の「アマン・スパ & ウェルネスセンター」、複数のダイニングおよびソーシャルスペース、さらにアマンレジデンスが併設されます。アマン ナイラート バンコクは、1988 年にプーケットで開業したアマンのフラッグシップ「アマン プリ」から続くブランドの進化を象徴し、アジアにおける 24 軒のアマンホテル & リゾートへのゲートウェイとしての役割を担います。

2025 年 4 月 2 日以降の宿泊予約を開始いたしました。

アマンコレクションの 36 番目のプロパティであり、3 番目の都市型ホテルとなるアマン ナイラート バンコクでは、アマンのホスピタリティの本質である、静寂とプライバシー、そして卓越したサービスをご提供いたします。ホテルのインスピレーションの源となったのは、歴史ある「Nai Lert Park Heritage Home（ナイラートパーク ヘリテージホーム）」であり、この施設を所有するナイラート家は、アマンのパートナーとしてバンコクにおいて類まれなる歴史的遺産を有しています。長い年月をかけて育まれた庭園と樹々は、今日のナイラートパークの豊かなオアシスを形成しており、ホテルはその自然の美しさを最大限に生かしながら、歴史と現代が融合した空間となっています。バンコクの文化や美食を存分に味わうことができるシグネチャーエクスペリエンスも用意されています。

アマン会長兼 CEO のヴラッド・ドロニンは、「タイはアマンの歴史において重要な役割を果たしてきました。アマン ナイラート バンコクは、バンコクの豊かな文化遺産とのユニークな結びつきを提供する新たな進化の形です。このプロジェクトは、ナイラート家、特に Naphaporn “Lek” Bodiratnangkura（ナファポーン・"レック"・ボディラットナンクラ）氏の多大な協力によって実現しました。ナイラート家が築き上げてきた伝統と価値を大切にしながら、新たな息吹を吹き込むことで、アマンならではの体験を都市型デスティネーションにも広げていきます。また、アジア各地のアマンとのつながりを強化する拠点としての役割も担っています」と述べています。

アマン ナイラート バンコクは、エネルギーに満ちたバンコクを中心部にありながら、静寂なひとときをもたらします。長年アマンのプロジェクトを手がけてきた建築家 ジャン＝ミッシェル・ギヤシー率いる Denniston が設計を担当し、100 年以上の歴史を持つナイラートパークヘリテージホームの魅力が、現代的な要素と融合するよう、ホテルをデザインしました。さらに、地元の職人によるカスタムメイドの工芸品やアンティークが、アマンのシンプルで洗練されたデザイン美学を

# AMAN

称えています。建物の中心的な位置づけとなる 100 年の時を刻んだ壮大なソンポンの木は、ホテルの創成を象徴し、その楕円形の印象的な空間を特徴づけています。

本施設は、広大な都市におけるラグジュアリーなサンクチュアリとして、洗練されたレストランやソーシャルスペースを提供いたします。ホテルのエントランスからエレベーターで 9 階へと上がると、自然光が差し込むアトリウムとレセプションエリアが広がります。同フロアには、1872 ラウンジバー、アマンのシグネチャーイタリアンダイニング「Arva (アルヴァ)」、プールサイドバー「The Pool」があり、ナイラートパークの緑を一望するインフィニティプールも併設されています。

19 階には、アマンクラブファウンダーズ専用の会員制オープンエアテラスが設けられ、バンコクの地平線を一望できる特別な空間の中で、2 つのプライベートレストランやアマンラウンジ、シガーバーを楽しむことができます。ファウンダーズメンバーは、ホテル内の最先端のウェルネス施設へのアクセスも可能です。

1,500 m<sup>2</sup>の「アマン・スパ&ウェルネス」は 2 フロアにわたり、中には、著名な「Medical Wellness by Herititude Clinic」の運営による専門メディカルクリニックや、8 室のプライベートクリニックルーム、診察&カウンセリングルーム、IV ラウンジ、クライオセラピーチャンバーを完備しています。別のフロアには、温浴施設、ムーブメントスペース、6 つのスパセラピールーム、タイマッサージ専用ルーム、そしてプライベートなバーニャスパハウスが設置され、極上のウェルネス体験をご提供いたします。

ホテルの客室は 11 階から 18 階に位置し、バンコク最大級の広さを誇る 52 室のスイートを提供いたします。94 m<sup>2</sup>以上の広さを有し、天井から床までの窓がナイラートパークの緑豊かな景観とバンコクの街並みを一望できます。713 m<sup>2</sup>を誇るアマンスイートには、3 ベッドルーム、バルコニーとテラス、ダイニングルームとバー、プライベートスパ、エンターテインメントルーム、書斎などが完備され、究極のラグジュアリー空間を演出します。

アマンナイラートバンコクは、ブータンの「アマンコラ」から日本の「アマン京都」まで、アジア 24 のアマンへの旅の起点となります。アマンの他のデスティネーションと行き来するゲストのために、2 泊以上の特別宿泊プランを提供し、毎日の朝食、文化体験プログラム、専属スタッフによるサービス、往復空港送迎、ファストトラック入国審査が含まれます。

[Website](#)

[Imagery](#)

###



## AMAN について

アマンは、プライベートな邸宅にいるかのような心温まるもてなしと、常に小規模であること、そして美しさの際立つラグジュアリーで非日常的な体験のできる、プライベートなリゾート・コレクションとして 1988 年に創設されました。そのコンセプトは、初のリゾートとして誕生したプーケット島のアマンプリ（平和なる場所）から世界へと広がっていきました。現在、アマンは世界 20 のデスティネーションにおいて、35 軒のホテル、リゾート、ブランデッドレジデンスを展開し、今後も新たなプロジェクトを積極的に進めてまいります。

近年、アマングループはアマン・スパからインスパイアされたホリスティックな「アマンスキンケア」（2018 年）、サプリメントシリーズ「Sva」（2020 年）、「アマンファインフレグランス」（2020 年）、レディトゥウエアコレクション「The Essentials by Aman」（2021 年）、フェイシャルスキンケアライン「Aman Essential Skin」（2023 年）、インテリアプロダクトライン「Aman Interiors」（2023 年）など、アマンのライフスタイルをご自宅へお届けすることができるまでに成長いたしました。

さらにアマンは常に進化を続けることをブランド哲学に据え、2020 年には新しいホテルブランド「Janu (ジャヌ)」を立ち上げました。サンスクリット語で「魂」を意味するジャヌは、人と人とのつながりを育み、調和を取り戻して歓びを分かち合うことをコンセプトとしています。2024 年 3 月に開業したジャヌ東京のほか新たなデスティネーションでの開業計画が進行しています。

## AMAN PR

Cecie Communication Design Studio

マネージング・ディレクター

杉原輝子 Email: [teruko-sugihara@cecie.jp](mailto:teruko-sugihara@cecie.jp) Tel: 080-3918-8288

コミュニケーションズ・ディレクター

廣田仁子 Email: [toyoko-hirota@cecie.jp](mailto:toyoko-hirota@cecie.jp) Tel: 090-8727-4539